

はじめに



本圏域は、平成14年3月に「諏訪地域ふるさと市町村圏計画」を策定し、「ひびきあい みらいへ諏訪の輪はひとつ」とする圏域の将来像の実現に向け、広域連合及び関係市町村が一体となって取り組んでまいりました。

本圏域を取り巻く情勢は大きく変化しており、少子高齢社会、高度情報化・国際化の進展や、経済のグローバル化、環境問題など、行政に対する課題は市町村の枠を超え、より高度で広域的なものとなっており、こうした高度化・多様化する住民ニーズに的確に対応し、住民と行政が協働して地域づくりを進めることが求められています。

このような状況の下、諏訪広域圏地域づくり事業の展開や、平成15年から広域連合が保険者となって介護保険事業を運営するなど、広域的な連携を強化してまいりました。

しかし一方で、関係市町村の合併協議では、平成16年までの2年余りにわたる合併協議を経た結果、いずれの市町村も合併を選択せず、自立の道を歩むという選択がされたことにより、関係市町村においては、より効果的で効率的な行政運営が強く求められています。

こうしたことを踏まえ、前期基本計画を見直し、平成23年度までの本圏域の施策の展開をまとめた「後期基本計画」を策定しました。この計画の実現に向けて、引き続き広域連合及び関係市町村が一体となって、積極的に取り組みたいと思います。

今後とも住みよい、魅力ある地域づくりをめざしてまい進してまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年3月

諏訪広域連合
広域連合長 山田 勝文